

今週のビルマのニュース 2010年8月20日【1031号】

NDF 幹部、立候補困難か NLD はボイコット決定

・選挙管理委員会が国民民主勢力(NDF)の幹部4人に対し、過去に問われた反逆罪について赦免を求め申請を再度しなければ立候補できないと通告していたことがわかった。4人は7月末に同様の通告を受けて申請をしたが、それに不備があったとされた。他方、アウンサンソーチー氏率いる国民民主連盟(NLD)は19日、選挙をボイコットすることを正式に決めた(20日イラワディ)。

【背景】90年の総選挙でNLDが議席の80%を獲得した際、現NDFの4人もNLDから当選した。しかし選挙結果を受けて軍政に代わる政府を樹立しようとしたことが反逆罪だとされ、禁固刑に服した。

パークレイズが対ビルマ等制裁に違反 罰金支払へ

・英金融大手パークレイズがキューバやイラン、ビルマ等との取引を禁じる米国の経済制裁に違反したとして米当局に2億9,800万ドルを支払う和解案が18日、米連邦裁判所に承認された(19日ワシントン・ポストほか)。イギリス労働組合会議(TUC)は19日、パークレイズが対ビルマ制裁に違反していたことを「不名誉だ」とし、ビルマ関連の取引について情報を公開するよう求めた。

米国が国連の調査委員会設置を支持

・米政府は18日、ビルマで「人道に対する罪」などが起きている疑いについて、国連による調査委員会設置を支持すると表明した。オバマ政権が始めた軍政との直接対話路線が成果を上げていないことが背景にあると見られる(18日ワシントン・ポスト、WSJほか)。国民民主連盟(NLD)のティンウー副議長は米国の支持表明を歓迎(19日AP)。

【国連調査委員会設置とは】軍政指揮下で国軍が民間人を狙って攻撃を仕掛けたり、強制労働の使用や少数民族女性の強かん等深刻な人権侵害が組織的かつ広範に行われている疑いを国連が正式に調査すること。国際刑事裁判所(ICC)等への付託の準備とも言える手続きで、英米を含め5か国が支持。

参考記事【再掲】

・世界29か国442人の国会議員が上記国連調査委設置を求める書簡を国連安保理に送付。日本の今野東議員らが呼びかけ人(2009年12月10日)。
<http://www.burmainfo.org/article/article.php?mode=2&articleid=498>

・国連のミャンマー担当人権特別報告者を務めた横田洋三・中央大学法科大学院教授が国連調査委設置を呼びかける論文をジャカルタ・ポスト紙に寄稿(2010年7月6日)。日本語訳：
http://www.jlnr.jp/refugeenews/news/jakartapost_20100706_opinion_yokota_J.pdf

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

8月11日 マンダレー管区、学校建設のため約9万9,000ドルの草の根無償資金協力

イベント情報

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・後援会など(熊本県玉名市で21日17時半～、広島安佐北区で22日15時～)

・日本ビルマ救援センター月例学習会 講師：宇田有三 「ウー・ウィンティンへのインタビュー」(大阪ボランティアセンター、26日19時～)

・ドキュメンタリー『ピュア…』上映・講演会 アムネスティ岐阜グループほか共催(JR岐阜駅東隣 ハートフルスクエアG、28日10時半～)

・渋谷敦志写真展「明日があるから 国境に生きるビルマ難民は今」(川崎市アートセンター、28日～9月10日9時半～19時半。28日にトークショー)

・ビルマの歴史学習会 講師：根本敬(上智大学教授) 主催：ビルマの歴史を学ぶ会(千代田区外神田・世橋区民会館4階和室、29日14時～)

・在日ビルマ人製作映画『悲しみと涙の川エヤーワディー』(日本語字幕付)上映会(南大塚ホール、29日13時半～、16時～、18時半～/3回上映)

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165